

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄

【様式 2】

No. A-68

部門名：
カリキュラム・マネジメント実践部門

エントリー名：市立札幌開成中等教育学校 勝田敏正
平成 3 0 年 第 5 回中堅教員研修

活動名：
評価を変えて授業に変化を
ルーブリックの導入を授業改善に

解決すべき課題：

目標準拠の観点別評価を課題探究的な学習に

本校は 6 年間を通した学びの連続性を大切にしている中等教育学校である。1 ～4 年は国際バカロレア (IB) の MYP を活用した授業に取り組み、5・6 年次の希望者には IB のディプロマ・プログラム(DP)を、DP を希望しない生徒には本校独自の探究プログラム(IP)で学習指導要領の内容に基づいた課題探究的な学習を行っている。IP 実施にあたり、MYP 同様にルーブリックに基づいた観点別評価を導入し、課題探究的な学習を充実させる必要がある。
・学習指導要領の観点別評価を導入し、課題探究的な学習の充実を目指す。
カリキュラム・マネジメントのために、学習指導の在り方等を見直すために観点別の評価を実施することが必要。
・新学習指導要領での実施を前倒しし、在校生により良い学習環境を整える。
何が身に付いたかを把握する「目標準拠評価」を実施し、学習内容の確実な定着をめざす体制を整備する。

目標・方針：評価の仕組みと授業内容を工夫し、課題探究的な学習環境を整える

- 1 観点別のルーブリックを作成し、シラバスとともに提示することで、指導と評価の一体化をめざす。(図 1)
- 2 各単元で学習指導要領の観点にバランス良く取り組み、観点別に評価を返却。(図 2)

活動内容：

- 1 観点別評価は評価・評定へと繋がりがやすいよう 5 段階とし、各教科で観点別のルーブリックを作成。(表 1)
- 2 レポートやプレゼンテーション、テストなどの評価方法を示したシラバスを Web で公開。(表 2)
- 3 探究的な内容となるように課題を設定することで、生徒は協働学習を通じて総括的課題に取り組む。
- 4 単元や学習のまとめりとテストやレポートを課し、観点別で評価する。(資料 1)

活動の成果：

- 1 ルーブリックを提示し、目標に準拠した評価を導入することで、学習のねらいが分かりやすくなり、生徒の学習意欲向上につながっている。(資料 2)
- 2 生徒が必要な知識を自分で獲得して議論するなどの協働学習に取り組むような「知識の活用」に視点をあてた課題探究的な授業が、「知識の習得」に繋がっている。
- 3 観点を意識した課題設定により、単元の目標にバランスよく取り組める。

アピールポイント (アイディアや工夫)：※3 ～5 つ程度、箇条書きしてください

- ・高校で導入が遅れている観点別の評価を、誰でも導入できるように簡略化
- ・成績処理の確認も同時にできるようプログレスレポートで観点別の成績を生徒に返却
- ・1 点刻みの採点ではなく観点別 5 段階とすることで、評価にかかる時間を短縮し、短縮した時間をコメントにあててフィードバックできる。
- ・観点別評価に教師が早く慣れることで、新学習指導要領にもスムーズに対応可能。

図 1 事前準備 (観点別のルーブリック作成とシラバスの提示)

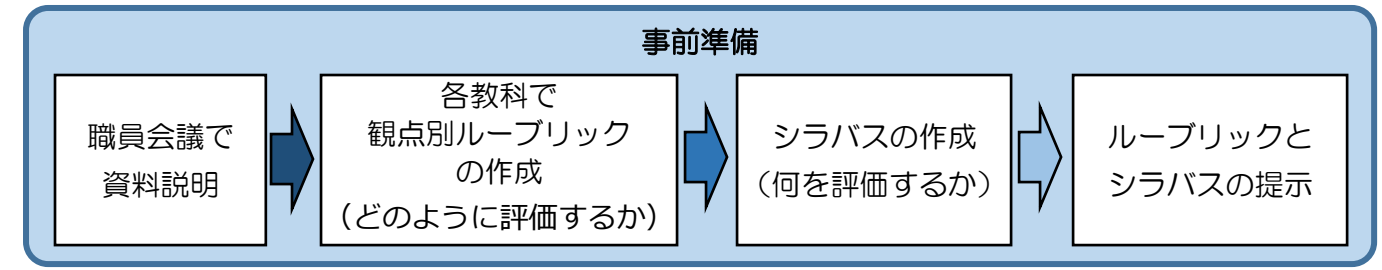


図 2 授業実践

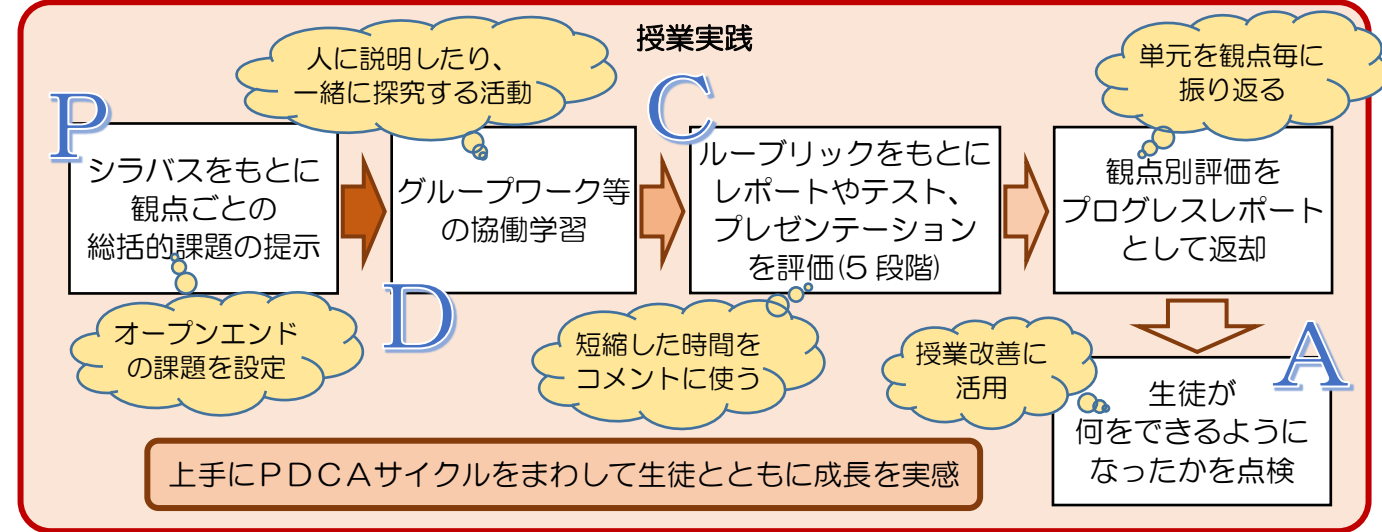


表 1 観点別のルーブリック(地理歴史の例)

評価標準	到達度
関心・意欲・態度	5 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究している。
	4 歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、おおむね意欲的に追究している。
	3 歴史的・地理的事象に関心があり、そこに含まれる意味をおおむね認識している。
	2 歴史的・地理的事象に関心があり、そこに含まれる意味をある程度認識している。
	1 上記の基準に達していない。
思考・判断・表現	5 課題の指示に従って、完全に情報や考えを構成し、受け手と目的にとって完全に適切な方法で、情報や考えを伝えている。
	4 課題の指示に従って、おおむね情報や考えを構成し、受け手と目的にとっておおむね適切な方法で、情報や考えを伝えている。
	3 情報や考えを概分が整理し、受け手と目的にとって概分が適切な方法で、情報や考えを伝えている。
	2 情報や考えを限定的な方法で整理し、受け手と目的にとって必ずしも適切でない方法で、情報や考えを伝えている。
	1 上記の基準に達していない。
資料活用・技能	5 幅広い情報源やデータを出典や目的の観点から分析し、その価値や限界をある程度認識して活用している。
	4 幅広い情報源やデータを出典や目的の観点から分析し、その価値や限界のいくつかを認識して活用している。
	3 情報源やデータを出典や目的の観点から分析し、その価値や限界のいくつかを認識して活用している。
	2 わずかな情報源やデータの出典と目的を認識して、その価値や限界をわずかに認識している。
	1 上記の基準に達していない。
知識・理解	5 高度かつ正確な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の非常に優れた知識と理解を示している。
	4 記述、説明、事例を通じて、内容と概念の十分な知識と理解を示している。
	3 単純な記述、説明、事例を通じて、内容と概念の基本的な知識と理解を示している。
	2 限定的な記述や事例を通じて、内容と概念の基本的な知識と理解を示している。
	1 上記の基準に達していない。

表 2 シラバス(地理 B の例)

単元名	単元学習目標	単元評価目標	年間計画
第 1 単元 世界の地理的現象と地域	1 世界の地理的現象と地域について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の地理的現象と地域について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	1 世界の地理的現象と地域について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の地理的現象と地域について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	第 1 学期 1 月～2 月
第 2 単元 世界の自然環境の発展	1 世界の自然環境の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の自然環境の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	1 世界の自然環境の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の自然環境の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	第 2 学期 3 月～4 月
第 3 単元 世界の社会環境の発展	1 世界の社会環境の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の社会環境の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	1 世界の社会環境の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の社会環境の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	第 3 学期 5 月～6 月
第 4 単元 世界の文化環境の発展	1 世界の文化環境の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の文化環境の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	1 世界の文化環境の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の文化環境の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	第 4 学期 7 月～8 月
第 5 単元 世界の環境問題の発展	1 世界の環境問題の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の環境問題の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	1 世界の環境問題の発展について、概観的な理解を深め、その背景や成因を考察する。2 世界の環境問題の発展について、具体的な事例を挙げて、その背景や成因を考察する。	第 5 学期 9 月～10 月

資料 1 自己評価と評価

自己評価	A	B	C	D
関心・意欲・態度	4	4	4	4
思考・判断・表現	4	4	4	4
資料活用・技能	4	4	4	4
知識・理解	4	4	4	4

評価	A	B	C	D
関心・意欲・態度	5	4	5	5
思考・判断・表現	5	4	5	5
資料活用・技能	5	4	5	5
知識・理解	5	4	5	5

振り返りを大切にしたい
取組で学習意欲を喚起

資料 2 生徒のコメント

<Unit 2 の振り返り 今回の Unit を通じて分かったことや感想を記入してください>
このプリントで、まとめたことにより、1 つの単語や出来事、つながりや流れが分かった。出来事と単語とで覚えるだけでなく、背景や他の出来事との関連も理解することが大切なんだと感じた。何が起る背景には必ず理由があるものなので、それを理解することこそ、これが 5 年までに学んでいきたい。
今回の Unit では、世界の農業や工業について、多くのことを学んだ。世界の農業は、Unit 1 で学んだ気候にも関連していて、頭の中が整理が、面白かった。また、世界のエネルギー事情についても学んだ。日本と比較して、日本を世界から見ると、エネルギーは乏しいと学んだ。現代の世界、日本の農林水産業、工業の問題点を知ることで、今後の課題をどう解決していくべきか考えた。農林水産業、工業はどのように発展していくのかを知り、面白かった。
産業革命のことで、多くの知識を得た。自分もまた、これから学んでいく中で、理解が深まることを願っている。グローバルやローカルという言葉を、新しく自分の知識にプラスして、今後の学習を頑張りたい。文章としてまとめる練習を設けてもらったことも、興味や関心も理解にプラスになったと思う。